

金融危機に関する 公開討論会

2008年11月19日

一橋大学 兼松講堂

コーディネーター

一橋大学経済研究所

北村行伸

米国金融危機の経緯



日本		米国	
1991年	地価ピークアウト	転機	2006年 住宅価格ピークアウト
1994年	東京協和・安全の2信組破綻	個別処理	2007年8月 BNPパリバ傘下ファンド凍結
1995年	兵庫銀行・木津信組破綻		12月6日 米政府がサブプライム住宅ローン借手救済策発表
1996年	住宅金融専門会社処理で公的資金投入		2008年3月16日 ペア・スターズがJPモルガン・チェースに買収される
1997年	北海道拓殖銀行破綻、山一証券自主廃業		7月 インディマック銀行破綻
1998年	日本長期信用銀行、日本債券信用銀行が破綻・国有化		9月7日 ファニーメイ、フレディマックが連邦政府の管理下入り
			9月15日 リーマン・ブラザーズが連邦破産法第11条適用申請、メリルリンチがバンク・オブ・アメリカに買収される
		9月16日 AIG事実上の連邦政府管理下入り	
		9月22日 ゴールドマン・サックスとモルガン・スタンレーが銀行持ち株会社設立・傘下入り	
		9月25日 ワシントン・ミューチュアルに業務停止命令、JPモルガン・チェースが買収	
1993年	共同債権買取機構を設立	不良債権買取	9月20日 不良資産買取へ公的資金最大7000億ドルの活用発表
1999年	整理回収機構(RCC)発足		10月7日 米連邦準備制度理事会(FRB)がコマーシャルペーパー購入制度創設
2003年	産業再生機構発足		
1998～1999年	大手銀行に公的資金計9.3兆円を投入	金融機関への公的資金	10月3日 金融市場安定化法成立・・・公的資金を用いた不良資産等の買取り制限(最大7000億ドル)、経営破綻時の預金保証上限額引上げ(10万ドル→25万ドル)、SEC(米証券取引委員会)に時価会計を凍結する権限を付与
2003年6月	りそなに公的資金1.96兆円投入		10月10日 ブッシュ大統領が金融機関への公的資金注入を正式表明 G7が公的資金注入などにより大手金融機関の破綻を防ぐことなどで合意

1. 金融危機の本質とは？

- 金融危機はどこが**原因**で、それはなぜか？
- 金融危機のヨーロッパへの波及はなぜ起こったのか？
- 今回の金融危機の特徴は**信用リスク取引**にあると考えていいのか？
- いつまで**国際金融危機**は続くのか？アメリカ当局の対応はあまりに拙速ではないか？

2. マクロ経済学から見た問題点

- 金融危機から実体経済への波及経路はどのようなものか？
- 実体経済への波及を阻止するために有効なマクロ経済政策は何か？
- 各国の国際協調はどれくらい有効か、どれくらい必要か？
- 今回の麻生政権の経済対策をどう評価するか？とりわけ2兆円規模の定額給付金政策に意味はあるのか？

3. 政策当局の対応

- 金融危機における金融政策当局の対応としてはシステミックリスクを回避すること、そのために十分な流動性を金融市場に供給すること、そして最後の貸し手としての機能を保証すること、にあると思うが、今回のアメリカ当局の対応はどうか？
- 金融機関がインターバンク市場で取引をしなくなる場合にどのような解決策があるのか？
- 流動性の供給過剰ということにはならないのか？最適な流動性量はどのように検証できるのか？

4. 金融工学とリスク管理

- 銀行監督規制として**BIS規制**はどのような意義があるのか？**証券業、保険業、ヘッジファンド**への適切な規制のあり方はどうか？
- **格付け機関**の情報開示はどの程度必要か？
- **証券取引等監視委員会**の役割や**国際会計基準**による時価評価の意義についてはどう考えればいいのか？
- **IMF、金融安定化フォーラム**や世界銀行にこれらの金融機関規制を総合的に立案し、執行していただくの**人材は揃っているのか？**

5. アジア経済との関係

- アジア経済の経済構造と世界経済の中に占める役割をどう考えればいいのか？
- アメリカ、ヨーロッパ、アジアという位置づけの中での貿易構造と為替制度・為替レートのあり方についてかどうか？
- 金融危機の国際通貨システムへの影響を最小限にするための施策は？
- ドル基軸通貨体制に代わる通貨システムとしてどのようなものが考えられるのか？